2022-2023 年度　　令和５年２月２０日発行

丸岡ロータリークラブ会報

RI2650地区 スローガン　「感動、感激、そして感謝」

丸岡ロータリークラブ　スローガン
「ロータリーを楽しみ、つながりを深めよう」

２月１３日外部卓話「子供シェルター・自立支援ホームについて」
一般社団法人ラシーヌ代表理事　端　将一郎　様（弁護士）

本日の例会

令和５年２月２０日（月）第 2097 回例会

19：00　開会点鐘

ﾛｰﾀﾘｰｿﾝｸﾞ　「我らの生業」　斉唱
会長挨拶　松井　寛　会長
幹事報告　竹澤 俊彦 幹事
委員会報告
① ロータリー情報委員会
「これだけは知っておきたいﾛｰﾀﾘｰの基礎」
ｐ38　クラブ運営の原則
本日の担当者：上屋敷貴紀会員
② 例会出席報告
③ ニコニコ箱　ﾛｰﾀﾘｰ財団　本日の寄付報告

19：30　外部卓話
「ジャーナリズムの視点から」
元福井新聞社取締役編集本部長
論説委員長　四戸 友也 氏

20：00　閉会点鐘

20：00　臨時総会

幹事報告

≪ガバナー事務所より連絡≫
①2/23 国際奉仕セミナーZoom 接続情報・当日資料

次回の例会

令和５年２月２７日（月）第 2098 回例会
外部卓話　「コーヒー文化と日本」
～コーヒーとケーキをいただきながら～」
日本コーヒー文化学会理事
福井県喫茶業協同組合副理事長
BETTER　LIFE　COFFEE　店長
山田 和則 氏

今後の予定

令和５年３月　６日（月）第 2099 回例会
祝事　米山奨学金授与（３月分）
米山奨学生卓話
「米山奨学生を終えるにあたって」
チャン・ザ・ウエイ　君

令和５年３月１３日（月）第 2100 回例会
外部卓話「新しい働き方と各種助成金制度について」
ふくい働き方改革推進支援センター森下 和之 氏

令和５年３月２０日（月）第 2101 回例会
会員卓話「「タイ国高校生との交流の現状と課題」
国際奉仕委員長　西出 智一 会員

令和５年３月２７日（月）第 2102 回例会
外部卓話「事業承継は地域を救ける」
福井商工会議所執行理事　事業承継・再生支援部長
小林 悟志 氏

ビジター受付のみ実施日　　詳しくは　https://rid2650-pub.com/

県下ロータリークラブ全て、ビジター受付はありません。

松井　寛　会長挨拶　　２月１３日（月）

皆さんこんばんは。２月のガバナーメッセージをお読みになったと思います。２ページ目に、２月は「平和構築と紛争予防月間」ということで、本年度の尾賀ガバナー滋賀県の方ということもあり「平和堂」について書かれていましたので、少し話をさせていただきます。

ガバナーメッセージの中で、「平和堂」とは、滋賀県、関西一円、、北陸、岐阜、愛知県に１５６店舗あり、私たち福井の人にとってもなじみのある大手のスーパーです。東証プライム市場において純利益１００億円を上回る大企業だそうです。「平和堂」の名前の由来は、創業者の夏原平次郎さんがつけた社名で太平洋戦争に赴かれた時の願いとして「自分たちの子供たちが過ごす時代は平和な時代になってのほしい」また長男さんの名前も「平和（ひらかず）」とつけられたそうです。また私たちがよく知っているシンボルマイクのシンボル「２羽のハトです。立場の違う２者が単に調和することだけでなく、切磋琢磨しながら進歩していこうという意味が込められているそうです。今月の「平和構築と紛争予防」のなぞらえ世界中の人たちが相手の立場と自分の立場をきちんと理解し田植えで調和し、ともに進歩し共存しようとすれば平和が構築されると書かれています。特に日々我々の社業を通じて自らの立ち位置から、真の平和実現に向けて少しでもできることを、言葉ではなく行動ですることしっかりやり遂げることが大切であると書いてあります。

私も社業を通じ、いろいろなロータリー活動するうえで相手を理解すること。そして言葉でなく行動を起こすということを優先できるよう頑張っていきます。

修了証授与　　２月１３日（月）

ＲＬＩ（ロータリーリーダーシップ研修会）パートⅢ　　竹吉　睦　副会長

外部卓話　　２月１３日（月）

「子どもシェルター・　自立援助ホームについて」
一般社団法人　ラシーヌ　代表理事
よつば法律事務所　　弁護士　　端　将一郎 様

＜子供シェルターの必要性＞

虐待その他の理由により、家庭内での生活が困難な子

→低年齢の子：児童相談所が一時保護をし、その後児童養護施設や、里親など、適切な養育環境を児童相談所が選ぶ。

→高年齢の子：自らの意思で避難することも可能な年齢なので、避難する場所が必要

≪子どもシェルターなどの場所≫

子どもシェルターがない場合、高年齢の子たちが、どこに行きやすいか？

⇒ケースバイケースではあるものの、

・男の子であれば反社会的勢力と言われる存在

・女の子であれば夜の繁華街や性風俗　　に行きつき易い

なぜか？

⇒彼らが、少年・少女たちに「居場所」を与えてくれるから

それでよいのか？

⇒よくない。反社会的な方や夜の繁華街での生活などから、犯罪の加害者にも被害者にもなり易い状況におかれる

◆そこで、子どもが自分の意思で避難できる場所が必要　子どもシェルター

＜子どもシェルターの役割＞

・対象となる子：１０代後半の子（１５歳～１９歳）　・費用：無料　・期間：約２～３か月

・施設スタッフ、児童相談所関係者、弁護士らが連携して、その子の今後の方向性にかかわっていく。そして、方向性を決めるためには、まずはその子のケアが必要。短期間居場所を提供し、心と身体を癒していく。

・その子のこれからを考えるにあたって大切なこと

⇒その子自身を交えて考えていくこと。たとえば、ケース会議などを行う場合にも、子どもを除いた大人たちで物事を決めていくのではなく、子どもの意思決定を尊重しながら決めていく。

＜自立援助ホームの必要性＞

・子どもシェルターに一時避難できたとして、その先どうするのか？

・子どもシェルターで過ごす２～３か月の間に、元々家に居場所がない子の帰住先（家庭、親族、職場、学校・・）を決められるのか？

⇒その子自身が自立に向けて歩みを進めていける場として、自立援助ホームが必要

＜自立援助ホームの役割＞

・対象となる子：１５歳から２０歳になるまでの子。

（入居が１９歳までであるが、２０歳になる前に入居している子は、一定の条件のもと、２２歳までいることができる（現行制度））　☆令和６年度から年齢制限が事実上なくなる

・費用：自己負担として月３万円　☆自立して生活していく準備の意味でも費用負担をお願いしている。

・期間：１～２年くらいの時間をかけながら（もっと短い子も、長い子もいる）、自立に向けての準備をする。

・ホームの子たちは、就学、就労をしながら生活する。

・ホームにくる子、社会性が身についていない子も多い。たとえば、包丁がつかえない、お米が研げない、公共交通機関が利用できない等、家庭内で過ごせた子が、特別に教えてもらわなくても身につけていくスキルが、身についていない子も多くいる。

・心身面のケア：発達障がい、愛着障がいなどを抱えている子もいる為、性格や状態なども考慮しながら対応する必要がある

＜福井にも必要なの？＞

・虐待は、都会に多くて福井にはないのでは？→虐待（身体的、精神的、性的、ネグレクト etc）は、県の大小や地域性に関わらず存在している。

・これまでの福井の子→県外の１１０番（相談窓口）や施設の利用していた。

⇒福井にも子どもシェルターや自立援助ホームが必要！

＜一般社団法人ラシーヌについて＞

・福井には、今まで、子どもシェルターも、自立援助ホームもなかった。

※自立援助ホームが１つもなかったのは、福井県のみだった。

・２０１９年末：福井県に、子どもシェルターや自立援助ホームを設立するため、福井県内の児童養護関係者、教育関係者、社会福祉士、弁護士らが中心となって、「福井に子どもシェルターをつくる会」を立ち上げた。

・「福井に子どもシェルターをつくる会」の設立後、１か月に１回のペースで会議を開き、子どもシェルター、自立援助ホームを設立するため協議を重ねた。

⇒２０２２年１月、「一般社団法人ラシーヌ」を設立した（登記上の設立は２０２２年３月）

＜２０２２年８月に設立した自立援助ホームについて＞

・ホーム名「さくらの木」　・スタッフは２４時間体制でホームに常駐。

・女子のホーム（定員６）⇒女子の場合、行き場がない場合に性風俗に結びついたり、若年のうちに臨まない妊娠をしたりするといったリスクがあることを踏まえ、まずは女子の自立援助ホームを設立することにした。

・寝食をともにしながら、子どもたちの自立に向けてのサポートをしていく。

・ホームに入居する子には、ホームでの約束事を守ってもらえるかを最初に確認し、約束してくれた子が入居する。

例）門限、禁煙・禁酒、金銭管理など

＜ホームの紹介＞

・１人１部屋：部屋の中には、机、ベッド、ドレッサー等が置かれている。

・リビング・キッチン：食器などは、１人１人、自分のものを選べ、食器棚のそれぞれの置き場で管理する。

・水回り：お風呂、シャワー室がそれぞれ１つずつ。トイレが３箇所。

＜啓発活動＞
商業施設の女子トイレを中心に子どもシェルターのカードを配布している。

委員会報告　　２月１３日（月）

◆ロータリー財団◆　　寄付者　　１５名
林田千之　下田　林田恒正　水﨑　柿木　松井　道木
上屋敷　川上　竹澤　岩田　海道　竹吉　南勝文
戸﨑

◆米山奨学会◆　　寄付者　　１５名
林田千之　下田　林田恒正　水﨑　柿木　松井　道木
上屋敷　川上　竹澤　岩田　海道　竹吉　南勝文
戸﨑

◆ニコニコ箱◆　　寄付者　　１７名
松井会長　端将一郎様　本日の卓話よろしくお願いいたします。
竹澤幹事　端様　本日の卓話よろしくお願いします。
林田千之　間もなく日本がなくなり、中国に！（今日のニュースから）
下田　端将一郎様　卓話ありがとうございます。
林田恒正　「子どもシェルター」の卓話興味深く聞かせていただきます！
水﨑　端さん　卓話ありがとうございます。
柿木　端将一郎先生　卓話宜しくお願い致します。
三寺　心と志は共に！！
道木　端氏　今日はご苦労様です。
上屋敷　本日もよろしくお願いいたします。
川上　端様　本日卓話よろしくお願い致します。

◆出席報告◆　　出席委員会

例会日	会員数	出　席	届有欠	届無欠	出席免除者欠席	例会出席率
2/13	２９	２１	６	０	２	77.78%

◆寄付金の状況◆ニコニコ箱委員会　ロータリー基金委員会

	2 月 13 日	累計	会費含む累計
ニコニコ箱	19,000 円	484,000 円	1,354,000 円
ロータリー財団	17,000 円	418,000 円	
米山記念奨学会	17,000 円	429,000 円	

2/13　ロータリー情報委員会
「知っておきたいロータリーの基礎」
p 35 青少年関係プログラム
解説担当：道木 宏昌 会員

岩田　本日もよろしくお願い致します。
前川正智　本日もよろしくお願い致します。
海道　いつもありがとうございます。
竹吉　端将一郎様　本日の卓話よろしくお願いいたします。
南勝文　本日も皆様御苦労様です。
戸﨑　本日もよろしくお願い致します。

杉本４５周年記念実行委員長より

本日、「当日スケジュール」「式典プログラム」「祝賀会プログラム」の３ページの資料を配布しました。
２月３日の実行委員会委員長会議におきまして決定したものです。また、２月６日理事会で承認をされております。

◆当日スケジュールについて
日時　２０２３年５月１４日（日）場所　小松屋
受付　　１４時３０分
記念式典　　１５時３０分～１６時３０分
記念講演会　１６時４５分～１７時４５分
記念祝賀会　１８時００分～２０時００分

◆「式典プログラム」「祝賀会プログラム」について
詳細は、詰めていく必要がありますので、式典部会・祝賀会部会におかれましては、各委員会を開催していただきまして詳細をご決定くださいますようよろしくお願い致します。

会員皆様のご協力・ご参加どうぞよろしくお願い致します。

丸岡ロータリークラブ
会員数：２９名　**例会場**：丸岡城のまちコミュニティセンター　**例会日**：毎週月曜日 19 時 00 分
事務局：〒910-0251　福井県坂井市丸岡町一本田福所 22-24-3　東角建設(株)　２F
（月）14 時から 18 時（火～金）13 時～17 時
TEL 0776-67-0410 FAX 0776-67－4811　E-mail webmaster@maruoka-rotary.com
公共イメージ委員会　理事－杉本政昭　**会報委員会**　委員長－杉本政昭　副委員長－前川　徹
委　員－下田重道